

TOKIWA

環境経営レポート 2021

2021年3月1日～2022年2月28日

株式会社 トキワ

2022年6月1日

CONTENTS

組織と方針

環境経営理念・環境経営方針3

組織の概要4～6

エコアクション21組織図及び担当者役割7

環境活動報告

環境経営目標及び活動実施結果8～13

2022年度環境経営目標及び環境経営計画14～15

環境関連法規等の取りまとめ15

外部からの苦情等の受付結果15

代表者評価

代表者による全体の評価と見直し指示16

環境経営理念・環境経営方針



環境経営理念

株式会社トキワの社名は「あざやかな緑を保つ^{トキワギ}常盤木、いつもみずみずしく
栄えてありたい」の願いの下、命名したものです。

その理念に沿い、我々はゴム・プラスチックを素材とする製品群の販売活動
の中で「地球環境を守る」をスローガンに、全社員で継続的環境保全活動に
取り組み社会的責任を果します。

環境経営方針

- 1.環境関連法規を遵守します。
- 2.当社の事業活動に伴う 資源・エネルギーの効率的活用削減に取り組みます。
 - ① 省エネルギーのためガソリン・軽油・電気使用量を削減します。
 - ② 省資源活動のため紙の使用量を削減します。
 - ③ 廃棄物削減のため、リサイクルに積極的に取り組み環境汚染の予防に努めます。
 - ④ 水の節水に努めます。
 - ⑤ エコ商品の販売推進に努めます
- 3.全社員に環境教育、周知を推進すると共に環境保全活動に参加し貢献します。
- 4.当社の環境経営方針は社外に公開します。

2019年4月18日改定

 株式会社 トキワ

代表取締役 中山 貞 憲

組 織 の 概 要

事業所名 株式会社 ト キ ワ
代表者氏名 代表取締役社長 中 山 貞 憲
資 本 金 8, 0 0 0 万円
創 業 大正10年 4月10日
設 立 昭和23年10月 2日

本社所在地
〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番1号
TEL 092-451-0121 (代表)
FAX 092-473-9097
H P <http://www.tokiwa-net.com>



株式会社トキワ 代表取締役 中山貞憲

環境管理責任者 代表取締役 中 山 貞 憲

事業内容 ゴム・プラスチック製品及び産業機械、機械工具の卸売業

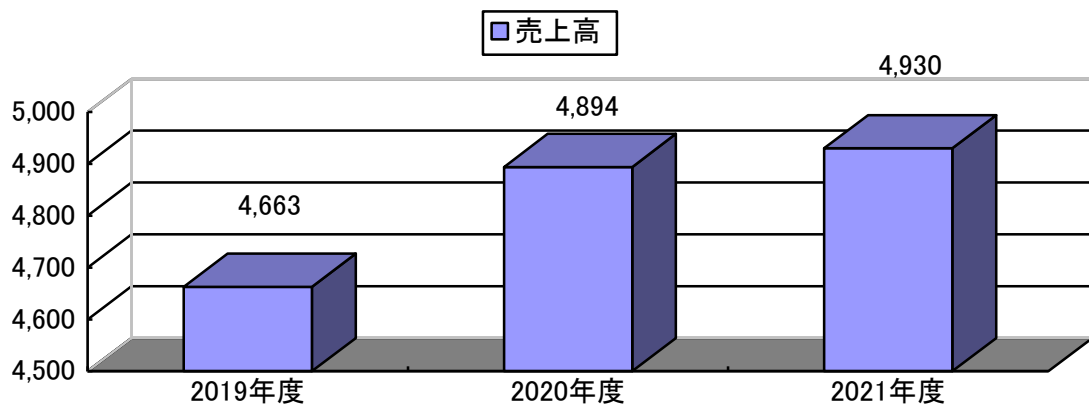
弊社は、創業大正10年より九州管内をテリトリーとして、ゴム製品・プラスチック製品を小売店様及び生産工場などのユーザー様に、お客様との信頼関係を第一に考え販売活動を行っています。

製品概要

各種工業用ゴム及び樹脂ホース・各種工業用樹脂素材及び加工
産業用、土建用シート及びフィルム、マット・ゴム板及び各種パッキン
土木資材・各種伝動用、搬送用ベルト・各種靴、合羽、手袋
産業機械・機械工具

事業の規模

(事業年度 : 3月~翌年2月) 売上高 単位: 百万円



	単位	2020年度	2021年度	2022年度
従業員数	人	91	91	88
床面積	m ²	6,514.90	6,514.90	6,514.90

従業員数は役員も含む

本 社

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番1号

TEL : 092-451-0121 FAX : 092-473-9097

床面積: 倉庫棟 (1F~4F)

旧事務所棟 (1F~3F)

新設事務所 (1F~3F)

床面積合計 : 3,647.4 m²

従業員 : 45名



支店・営業所

熊本支店

〒861-4106 熊本県熊本市南区南高江3丁目2番21号

TEL : 096-311-3120

床面積: 事務所倉庫 (1F~2F)

床面積合計 : 1,115.5 m²

従業員 : 13名



大分営業所

〒870-0912 大分県大分市原新町15番14号

TEL：097-558-2323

床面積： 事務所倉庫（1F~2F）

床面積合計： 475.0 m²

従業員： 7名



長崎営業所

〒856-0028 長崎県大村市坂口町539-4

TEL：0957-52-3380

床面積： 事務所倉庫（1F~2F）

床面積合計： 413.3 m²

従業員： 9名



北九州営業所

〒802-0976 福岡県北九州市小倉南区南方5丁目21番1号

TEL：093-964-0062

床面積： 事務所倉庫（1F~2F）

床面積合計： 512.5 m²

従業員： 8名



鹿児島営業所

〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目3-60

TEL：099-210-8857

床面積： 事務所倉庫（1F~2F）

床面積合計： 351.20 m²

従業員： 6名

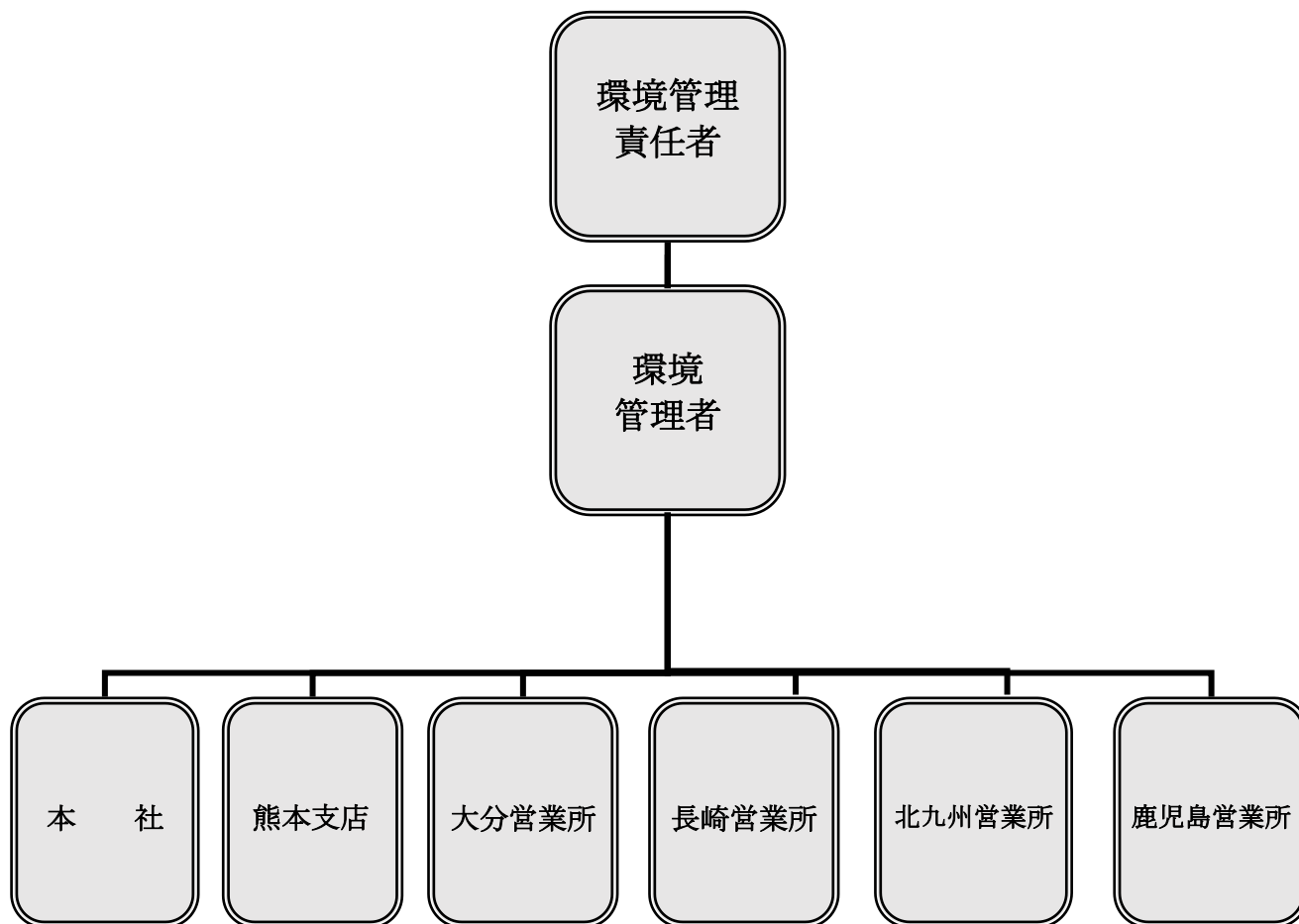


2022年6月1日付

認証・登録範囲

本社・熊本支店・大分営業所・長崎営業所・北九州営業所・鹿児島営業所

エコアクション2.1組織図及び担当者役割



2022年6月現在

職責別担当者の業務内容

	担当者	担当者	実行内容	人数
1	最高環境管理責任者	代表取締役	環境経営方針の作成 取組の為、人・物・金について資源を準備する 環境経営目標の決定・環境経営目標達成状況の確認修正 環境経営レポートの承認 代表者による全体の見直しと指示	1
2	環境管理者	庶務課	最高環境管理責任者に対して取組及び活動内容の報告 環境経営目標の策定・達成状況の確認及び修正 環境経営計画の決定及び実施状況の確認・環境経営教育 環境経営レポートの作成及び最高責任者への提出 環境教育の策定・外部からの苦情及び緊急事態の発生時の 部会長への指示・法令順守指導	1
3	部会長	各事業所長	部門別環境活動計画及び目標の策定・四半期環境活動計画の 評価及び承認・環境教育の実施・外部からの苦情及び緊急 事態の発生について対応、受付及び連絡票の作成	10
4	各責任者	事業部責任者	環境経営計画の実施及び各員への指示・反省 部会長への報告	—
5	社員	事業部門員	環境経営活動の実施	—

環境経営目標及び活動実施結果

① 2019年～2021年環境経営目標

環境経営目標

環境経営目標 (目標設定基準)		単位	2019年度 (2019.3.1～ 2020.2.29)	2020年度 (2020.3.1～ 2021.2.28)	2021年度 (2021.3.1～ 2022.2.28)
1	二酸化炭素排出量の削減 基準値 (2018年度実績) 301,249 kg-CO ₂	kg-CO ₂	298,210 以下 (99.0%以下)	295,210 以下 (98.0%以下)	292,210 以下 (97.0%以下)
2	廃棄物排出量の削減 基準値 (2018年度実績) 25,010 kg	kg	20,770 以下 (83.0%以下)	20,559 以下 (82.2%以下)	20,350 以下 (81.4%以下)
3	節水活動の推進 基準値 (2018年度実績) 700 立米	立米	690 m ³ 以下 (98.6%以下)	679 m ³ 以下 (97.0%以下)	670 m ³ 以下 (95.7%以下)
4	エコ商品の販売 基準値 (2018年度実績) 112,264 千円	千円	98,000 千円 (87.3%)	107,800 千円 (96.0%)	118,580 千円 (105.6%)

注

環境経営目標の3カ年計画の二酸化炭素排出係数は、2017年度九州電力二酸化炭素排出係数0.463kg-CO₂/kWhを使用して作成
2021年度は、ガイドライン2017年度版にて活動を行なった。

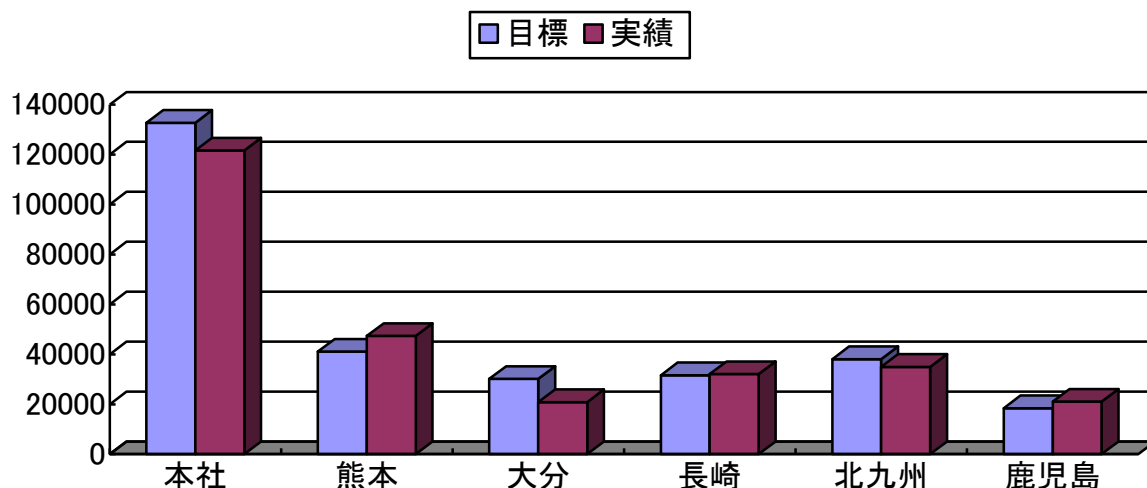
② 事業所別2021年度環境経営目標 (期間：2021年3月1日～翌2月28日)

事業所/ 単位 2021年度	二酸化炭素排出量削減	廃棄物排出量削減	節水活動の推進	エコ商品の販売
	kg-CO ₂	kg	立米	千円
本 社	132,760 以下	10,540 以下	378 以下	24,200 以上
熊本 支店	41,090 以下	3,302 以下	109 以下	12,100 以上
大分営業所	30,180 以下	538 以下	38 以下	7,260 以上
長崎営業所	31,680 以下	4,670 以下	51 以下	54,450 以上
北九州営業所	38,060 以下	840 以下	22 以下	2,420 以上
鹿児島営業所	18,440 以下	460 以下	72 以下	18,150 以上
全 社 計	292,210 以下	20,350 以下	670 以下	118,580 以上

1. 二酸化炭素排出量の削減（2021年度活動実施結果）

目標：292,210kg-CO2

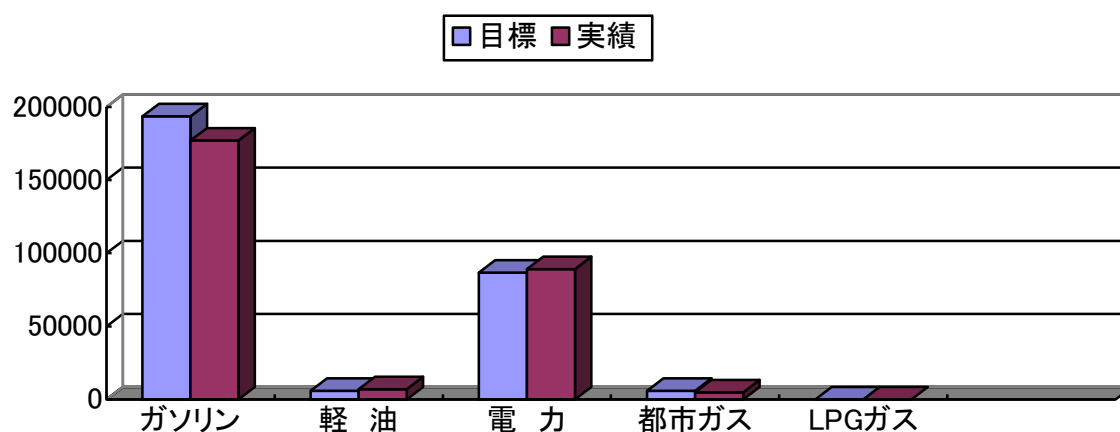
単位：kg-CO2



2021年度については、二酸化炭素排出量は、対目標 4.8%の削減が出来ました。達成事業所は、本社、大分営業所、北九州営業所でした。

	本社	熊本	大分	長崎	北九州	鹿児島	全社
目標	132,760	41,090	30,180	31,680	38,060	18,440	292,210
実績	121,615	47,381	20,866	32,107	34,982	21,094	278,045
増減	8.4%減	15.3%増	30.9%減	1.3%増	8.1%減	14.4%増	4.8%減
評価	○	×	○	×	○	×	○

エネルギー別成績

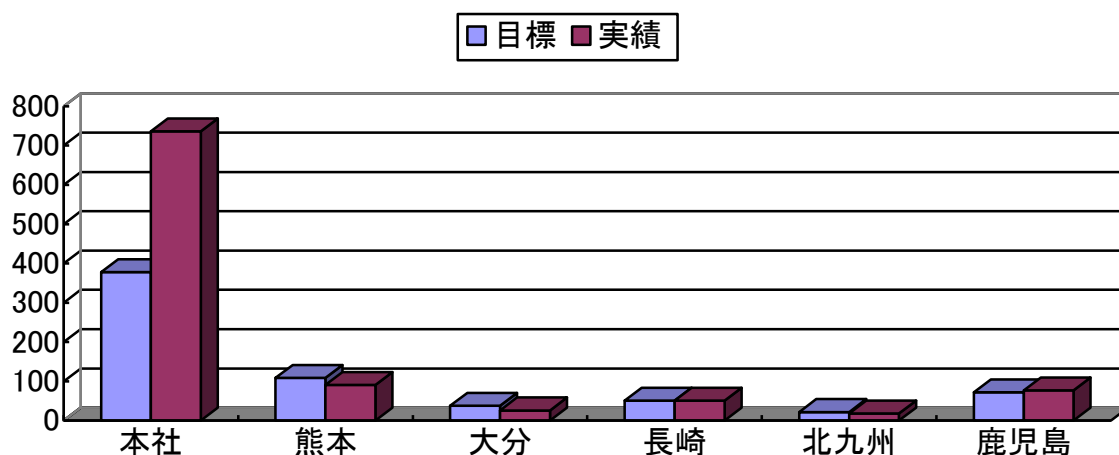


エネルギー別成績については、使用エネルギーの割合が大きい、ガソリン使用量にて8.5%削減、都市ガス使用量にて18.9%削減となりました。

エネルギーの種類	単位	2021年度目標	2021年度実績	増減率
ガソリン	kg-CO2	193,604	177,097	8.5%削減
軽油	kg-CO2	5,957	6,968	17.0%増加
電力	kg-CO2	86,686	89,128	2.8%増加
都市ガス	kg-CO2	5,918	4,541	18.9%削減
LPGガス	kg-CO2	45	51	13.3%増加

2. 節水活動の推進
 目標 : 670 m³

単位 : m³

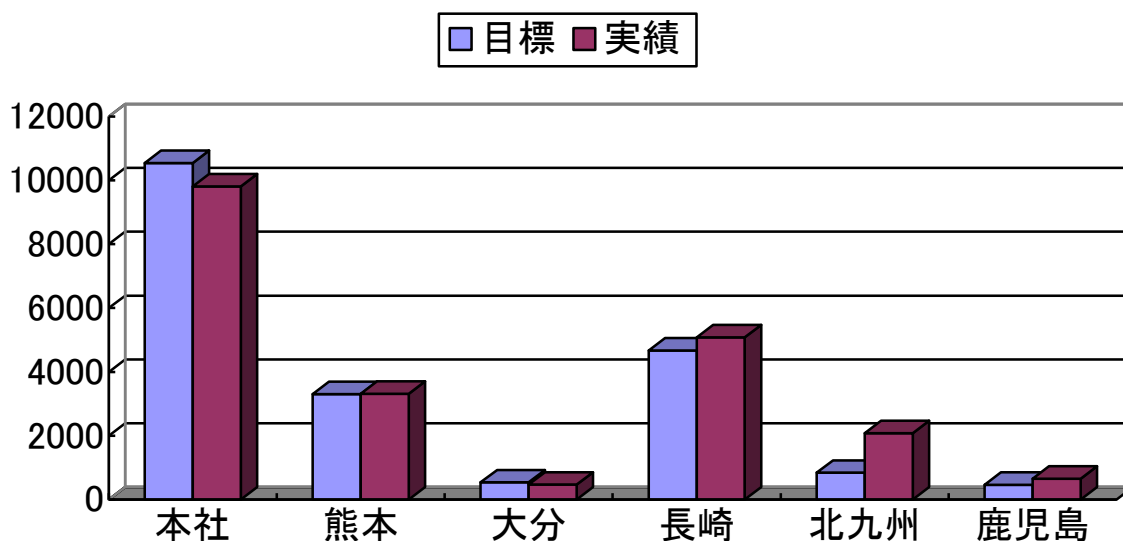


節水活動の推進についての達成事業所は、熊本支店・大分営業所・北九州営業所

	本社	熊本	大分	長崎	北九州	鹿児島	全社
目標	378	109	38	51	22	72	670
実績	736	91	26	51	18	77	999
増減	94.7%増	16.5%減	31.6%減	達成	18.2%減	6.9%増	49.1%増
評価	×	○	○	○	○	×	×

3. 廃棄物排出量の削減
 目標 : 20,350 Kg

単位 : Kg



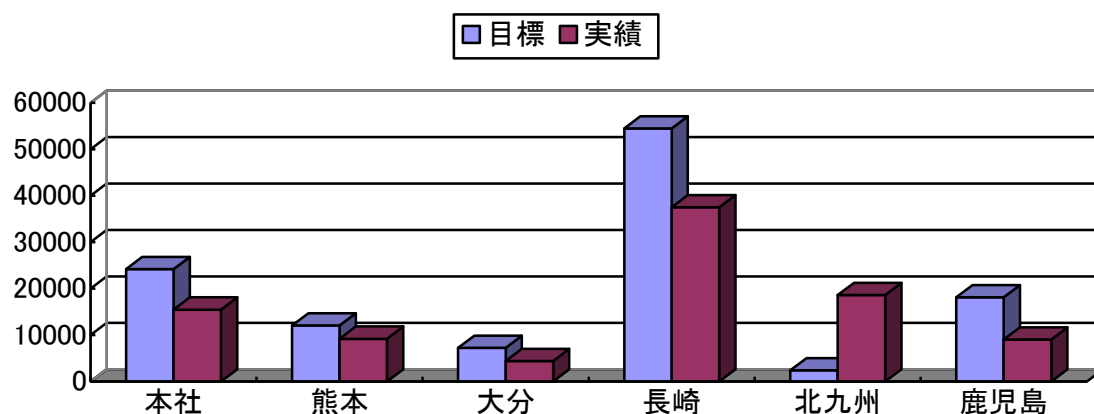
廃棄物排出量の達成事業所は、本社、大分営業所

	本社	熊本	大分	長崎	北九州	鹿児島	全社
目標	10,540	3,302	538	4,670	840	460	20,350
実績	9,810	3,313	467	5,084	2,082	656	21,412
増減	6.9%減	0.3%増	13.2%減	8.9%増	247.9%増	42.6%増	5.2%増
評価	○	×	○	×	×	×	×

4. エコ商品の販売実績結果

目標 : 118,580

単位 : 千円



エコ商品の販売の達成事業所は、北九州営業所

	本 社	熊 本	大 分	長 崎	北九州	鹿児島	合 計
目 標	24,200	12,100	7,260	54,450	2,420	18,150	118,580
実 績	15,501	9,221	4,420	37,495	18,652	9,063	94,352
達成率	64.05%	76.20%	60.88%	68.86%	770.70%	49.93%	79.57%
評 価	×	×	×	×	○	×	×

5. 業務用パッケージエアコン・スポットクーラー簡易点検結果

2021年3月～2022年2月

	本 社	熊 本	大 分	長 崎	北九州	鹿児島
点検結果	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし

特に問題は発生していない。

③環境負荷の削減についての活動結果

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切	◎
			2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切	○
			3	電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。	○
	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底	◎
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動	△
環境負荷の削減	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売	△

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底	◎
			2	ダンボール、新聞紙の再利用	◎

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
エアコン点検	室内外機の点検	全社	1	業務用エアコン室内外機及びスポットクーラーの点検	◎

「活動評価について」

(二酸化炭素排出量の削減)

2021年度二酸化炭素排出量の成績は、対目標の4.8%削減が出来た。達成事業所は、本社、大分、北九州の各事業所でした。

内容的には、電力で対目標 2.82%の増加、ガソリン使用量にて 8.53%の削減 軽油使用量 16.96%の増加 都市ガス使用量で 18.9%の削減 LPG 使用量にて 13.3%の増加となっています。

全社的な売りが伸びる中、働き方改革及び車輛運行方法の変更、新型コロナによる影響、面談方法の変化等による会社方針での活動が大きく寄与している。

又、未達成事業所においては、IC 関係の好調による影響や、人員増による排出量の増加事業所もあった。

(廃棄物排出量の削減)

廃棄物排出量の成績は、対目標 5.2%の増加となり未達成で終了した。

今年度は、北九州営業所にて、サンプル等の整理を行い廃棄物が多く出たことが第一の要因となっています。

反対に、全事業所で段ボール、新聞紙のリユースの活動を行った事があげられるが、特に本社では、「新聞紙」の廃棄が0であり大きく成績に寄与した。各責任者の意識が向上し、この活動が推進していることが確認できた事例である。

電子化については、「電子マニフェスト」の推進を検討し JW センターからデモシステムを借り入れ検討したが、次年度への課題とした。

操作方法等のマニュアル、設定条件は既に把握できているので、スタートは特に問題はないと考える。

(節水活動の推進)

水使用量については、対目標 49.1%増と未達成となりました。

使用量については、ここ数年安定的に推移しており増加分は、人員増加事業所によるものである。

熊本支店、大分、長崎、北九州営業所に於いては、各人意識しての行動が水削減の成果となった。

(エコ商品のPR)

遮熱フィルム、シートの実績が大きく寄与している。

冷氣放出を防止できるような商品を提案する事で、省エネルギーへ取り組んでいく。

(本社)

環境改善間仕切りカーテンやエコ継手などの未受注が未達成の要因。エコ商品群を増やしていくことと、遮熱シートでの実績作りに注力していきます。(熊本)

上期に PR した関連商品が下期に入り受注できるようになり結果が残せたことは評価できる (大分)

特定ユーザーのエコダクトの使用量が減ったのが影響 (長崎)

LED 交換工事が販売額に大きく貢献した。来期は、省エネ・夏期対策用の製品等に注力していきたい。(北九州)

昨年と比較すると、大型物件が明らかに少なかった。来期は保温工事の案件の取得、遮熱シートの提案を行う (鹿児島)

(各事業所コメント)

(エアコンの簡易点検)

各事業所にて3ヶ月に1回確認を行い、点検表を作成して点検を行なった。

特に室内機・室外機、スポットクーラー、共に問題は無かった。

2022 年度環境経営目標及び環境経営計画

① 2022 年度環境経営目標

このエコアクション 21 の活動を行なうことによって、地球環境の保全は基より自らの事業を発展させる活動として「4つの環境経営目標」を取り決め、その活動を行なうことによって、従業員間の相互理解・能力・意欲が向上し、「企業価値」を高めて行きたい

環境経営目標 (2022 年度～2024 年度)

環境経営目標 (目標設定基準値)	単位	2022 年度 (2022.3.1～ 2023.2.28)	2023 年度 (2023.3.1～ 2024.2.29)	2024 年度 (2024.3.1～ 2025.2.28)
1 二酸化炭素排出量の削減 基準値 (2021 年度実績) 278,045 kg-CO2	kg-CO2	275,270kg-CO2 以下 (99.0%以下)	272,510kg-CO2 以下 (98.0%以下)	269,690 kg-CO2 以下 (97.0%以下)
2 廃棄物排出量の削減 基準値 (2021 年度実績) 21,412kg	kg	20,390 kg 以下 (95.2%以下)	20,180 kg 以下 (94.2%以下)	19,980 kg 以下 (93.3%以下)
3 節水活動の推進 基準値 (2021 年度実績) 999 m ³	m ³	987 m ³ 以下 (98.8%以下)	973 m ³ 以下 (97.4%以下)	962 m ³ 以下 (96.3%以下)
4 エコ商品の販売 基準値 (2021 年度実績) 94,354 千円	千円	95,000 千円 (100.7%)	99,700 千円 (105.7%)	104,690 千円 (111.0%)

* 基準値については、排出係数を 2017 年九州電力 CO2 排出係数実績調整後 (0.463kg-CO2/kWh) にて再計算後の二酸化炭素排出量にて 3 か年計画を作成

* ガイドライン 2017 年度版にて活動

「弊社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています」



② 2022 年度環境経営計画

取組	取組目標	事業所	活動項目	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切
			2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切
			3	電気冷房及び暖房の温度設定を「適温」にて行なう
ガソリン・軽油の削減	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底
			2	ダンボール、新聞紙の再利用
			3	有価物としての排出
エコ商品の販売	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売実績の達成
簡易点検	エアコンの室内外機の点検	全社	1	年四回の簡易点検を行う。

環境関連法規等の取りまとめ

2022年6月1日現在、環境関連法規を遵守し、関係機関や利害関係者の指摘、苦情、訴訟はありませんでした。

環境法規名称	届出・作業等	判定
消防法	消化設備法定点検	○
廃棄物処理法	産業廃棄物処理	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン・スポットクーラー点検	○

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情等の受付はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し指示

2022 年度 エコアクション 21 代表者及び役員に対しての成績報告が、令和 4 年 5 月 16 日午前 10:00 より 本社応接室にて開始され、下記内容にて「全体の評価と見直し指示」があった。会議は 10 時 40 分に終了した

参加者 : 中山貞憲社長（環境責任者）中山武俊専務取締役・矢崎靖規取締役営業部長
議題 :

1. 2021 年度評価及び成績について
2. 3 か年計画の作成について
3. 二酸化炭素排出係数の変更について
4. 「エコアクション 21 個人携帯カード」について

提出書類 :

1. 環境経営方針(2017 年度版ガイドライン分)
2. 2021 年度 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果
3. 2021 年度 エコアクション 21 全社成績表（事業所別）
4. 2021 年度 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果
5. 九州電力 2019 年度の二酸化炭素排出係数について

評価① : 環境経営システムが有効に機能しているか

今年度の活動については、働き方改革での残業削減、会社車輛の通勤方法の変更、新型コロナウイルス対応のリモートワーク等、会社方針を一連にて遂行して実行できたことは、このシステムが有効に機能していると確認できた。

評価② : 環境への取組は適切に実施されているか

福岡市の条例で廃棄物の分別方法が変更され、全社員が取り組みを行っているが、1 年が過ぎた現時点でも社員の意識は変わらず分別出来ており、特に商品管理課において意識が浸透し、完璧に分別、整理がされている。このようにエコアクション 21 を行っていたことで、ごみ排出に関しての処理が容易にできたことで、この取り組みが適切に実施され意識が向上していることが確認できた。

【見直しの必要性】

- | | | |
|--|---------------------------------------|--|
| ① 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 要 | <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| ② 環境経営目標 3 か年計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| 環境経営目標 3 か年計画については、2021 年度が 3 か年計画の最終年であり、2021 年度を基準値として新たに 3 か年計画を作成することとする。 | | |
| ③ 実施体制 | <input type="checkbox"/> 要 | <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| ④ 二酸化炭素排出係数変更について | <input type="checkbox"/> 要 | <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| 二酸化炭素排出係数については、2020 年度代表者の見直しで 2019 年度九州電力排出係数に見直す計画であったが、2020 年度九州電力排出係数が 2017 年度排出係数とほぼ同係数となったために混乱防止にて見送りとする。 | | |
| ⑤ 「個人携帯カード」について | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| 「エコアクション 21 個人携帯カード」については、申請時より各員の意識付け及び緊急連絡網としての位置づけで配布し教育してきたが、弊社のシステム上でのデータ化及びコミュニケーションツールの充実にて、その役割を終えたと考える。2022 年 1 月 12 日の中央事務局からの「ペーパーレス化」「デジタル化」の通達も相まって、2022 年度より「個人携帯カード」を終了することとする。 | | |